

# 4つの街づくり提案 (中田英一「覚悟のあるマニフェスト」)

0. 議会・行政改革に加え1. 子育て教育2. 福祉3. 産業農業4. 若者支援の柱を掲げます。

vol1 では1と2に焦点をあてます。この提案は完成ではありません。より良くするため皆様の声をお聴かせ下さい。

## 1. 未来を見据えた子育て支援と教育

### ①子育てしながら働ける保育環境の整備

**現状** 保育所(19時頃まで)や、幼稚園(14時頃まで)の終了後に子どもを預かる施設(幼稚園の「預かり保育」など)が不足しています。

**問題** 保護者の働く時間が制限され、収入や労働力の喪失につながっています。

**解決** 預かり保育の実施に対する補助金の拡充や、認定こども園と保育所の受け入れ定員増を進め待機児童ゼロを目指します。



### ②小児救急の不安解消

**現状** 北神戸地区を含めて三田以北には平日23時以降と日曜17時以降に受診できる小児科はありません。

**問題** 子どもは自分の病状をうまく伝えることができず、急な発熱をしたときなど救急で診てもらえる病院が近くにないことは、保護者にとって大きな不安となっています。

**解決** 北神戸など近圏地域の医師会との連携により、小児科医師の増員や当番制の導入を模索し、空白時間帯を埋める体制作りを進めます。

### ③少人数授業・少人数学級・独自カリキュラムによる教育機会と内容の充実

**問題** クラスの児童・生徒数が多くなれば、教師の目が一人ひとりに届きにくいじめの発見・解決が遅れたり、一斉授業では個別の学力差に応じた指導が困難になります。また、現在カリキュラムはどの学校も差異はなく、志望高校はおおむね通学時間や偏差値を基準に決定される傾向にあります。

**解決** 少人数かつ副担任制の推進により、集団生活・学習の両面において児童・生徒に応じた細やかな指導ができるようになります。独自のカリキュラムを認めることで、各校の特色を引き出し、生徒が将来の夢を描ける高校教育を進めていきます。

## 2. 笑顔で住み続けられる街

### ①元気な高齢者の雇用確保と生きがい作り

**現状** 定年後も元気な高齢者が増え、労働による貢献は生きがいに繋がります。

**解決** 高齢者の知恵や技術を地域に活かすため、シルバー人材センターの利用を促進していきます。

### ②コミュニティバス導入で買い物・医療難民を防止

**現状** 車社会の三田では、運転ができなくなると駅やバス停が遠い方などは外出するのが億劫になり、健康面においても好ましくありません。

**解決** 小型のコミュニティバスや予約制タクシーを導入し、車がなくなるとも笑顔で住み続けられる街を目指します。



### ③空き教室を利用して シルバーサロンや多世代交流

**現状** 少子高齢化が進み、学校教室が余ると同時に、高齢者が地域で交流する場所の需要が増大しています。

**解決** 空き教室を利用して近所の高齢者が気軽に集い、児童・生徒や保護者とも、放課後クラブや子育て相談などの形で交流を深められるサロンを提案し、地域交流・多世代交流の豊かな街づくりを進めます。

### ④安心して必要な介護が受けられる

**現状** 兵庫県では約2万5000人(東京について全国ワースト2位)、三田でも数百人の方が特別養護老人ホーム(以下「特養」)への入所申込みが満員のため受け入れられず待機者となっています。

**問題** 本人には必要な介護が受けられない苦痛があり、同居者には重い介護負担がのしかかっています。

**解決** 特養の増設を求めながら、小規模多機能型介護サービス(デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプサービスなど総合的に受けられる)を拡充することで、本人および同居者の負担軽減と特養の混雑の緩和を図り、待機者数を減らすことを目指します。